

2019 年 7 月 1 日

第 15 回「児童教育実践についての研究助成」Web 応募受付開始

博報財団(公益財団法人 博報児童教育振興会)は、第 15 回「児童教育実践についての研究助成」の応募受付開始を本日発表しましたのでお知らせいたします。

■ 当事業の目的

この事業は、「ことばの力」を通じて子どもたちの生きる力を育むことを目的として、児童教育の質を向上させる実践的研究を支援しています。研究が深化・拡大し、その成果が教育実践の場に反映されることを通して、児童教育の基盤を充実させることを目指しています。学術研究の発展に貢献し、教育実践の改善に役立つ研究の応募を期待しています。

■ 対象となる研究

◎ 「ことばの力」を育む研究

・国語・日本語教育の諸分野における研究 ・あらゆる学びの場におけることばの教育に関する研究

◎ 児童教育実践の質を向上させる研究

・多様な場における教育実践の質を向上させる研究

*対象は小・中学生となります。ただし、児童教育への反映が明確な場合に限り、幼児教育、高校生に関する研究も可とします

■ 応募資格

下記のいずれかに該当する方を対象とします。

・日本の大学・研究機関に所属する研究者

(例えば准教授、講師、助教、博士課程の院生等。若手支援のため、教授やそれに相当する職は除く。)

・日本の学校・教育委員会に所属する教育実践に携わる方

(例えば教諭、指導主事、相談員、特別支援教育の支援員等。)

*応募に際しては、所属長あるいは指導教官からの推薦が必要です。

■ 助成金額

1 カ年助成: 1 件につき 200 万円を限度に助成します。

2 カ年助成: 1 件につき 300 万円を限度に助成します

■ スケジュール

応募受付期間 2019 年 7 月 1 日～10 月 31 日 *財団 HP からご応募ください*

採否通知 2020 年 2 月下旬

助成期間 2020 年 4 月 1 日から 1 年間または 2 年間

博報財団(正式名称:公益財団法人 博報児童教育振興会)は、次代を担う子どもたちの豊かな人間性の育成のために、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成」「博報日本研究フェロシップ」「博報日本語交流プログラム」「博報財団こども研究所」など、「ことば」「文化」の領域を中心に児童教育の支援につながる活動を行っています。2018 年度にはこれらに加え、新たに「博報教職育成奨学金」を設立しました。

■ 本件に関するお問い合わせ先:

公益財団法人 博報児童教育振興会 研究助成事業担当

TEL. 03-5570-5008 / FAX. 03-5570-5016

E-mail. hakuho.foundation@hakuho.co.jp